

未来づくり懇談会（第二農場）会議録

日 時：平成28年10月18日（火）

19:00～20:20

場 所：第二農場自治公民館

出席者：市長、教育長、総合政策課長、
商工林業観光課長、総合政策課長補佐

1 開 会 19:00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

持続可能な泉地区のまちづくりについて

・資料に基づき、人口推計、小さな拠点構想等について説明。

5 意見交換

Q1 八方ヶ原に向かう道路は、木が張り出しているため観光バスの屋根についている無線アンテナやテレビのアンテナが壊れてしまう。バスの運転手は八方に来るのを嫌がる。木をどうにかして欲しい。

A1 塩原矢板線は県道で栃木県の管理だが、森林は国の管理になっている所もあり、木の伐採の制約が強い。八方ヶ原、大間々へ上りやすくなるよう、森林管理署や県の森林管理事務所と協議させていただく。

Q2 補助事業がいろいろあるが泉地区の場合、公図がないことがネックになっている。泉地区の北部は地籍調査を早く実施してもらいたい。

A2 泉地区の第一農場は、公図が全く無い地域もあり、中山間地域の総合整備事業がなかなか進まない状況にある。平成24年度に事業採択になったが公図混乱と公図がないため、約7700万円の予算を確保し計画しているが事業に入れない状況。来年度は地籍調査に係る予算の増額と地籍調査担当職員を増やす対応をしたいと思っている。

地籍調査は公図を基に現地を調査するので、公図が無い地域や現状と公図の状況がかけ離れている地域では、地籍調査を行うことが困難である。

Q 3 八方の学校平に八方牧場があるが、周辺の管理用道路を市で整備して綺麗な道路になっている。伝染病予防のために通行禁止というのは分かるが、自転車で走るには一番いい場所だと思うので開放して欲しい。

A 3 八方牧場の周辺を活用しようということは参考にさせていただきたいと思う。

O 4 暗い時に市営バスだと分かりにくい。手をあげても通り過ぎられてしまう。暗くても市営バスだとわかるように外付けのランプをつけてほしい。

平成 30 年 3 月	市営バスに行燈設置
-------------	-----------

Q 5 獣害対策について市ではどう考えているのか？補助はあるか？

A 5 獣害対策は組織的に行うことが効果的とされているので、H 2 9 年度から猟友会の皆さんにご協力いただき、捕獲実施部隊の準備を進めている。報奨金については 1 0 月 1 日から 1 頭につき 6, 0 0 0 円出している。

県もモデル地区を作って地域ぐるみで対策することを考えている。1 2 月補正で箱罾、くくり罾、猟友会への補助等具体的に対策を強化する。来させないようにする努力として山際の下草狩りに対する補助など、森づくり県民税のメニュー拡大も矢板市として要望している。

平成 28 年 10 月	捕獲報償制度開始
	捕獲報奨金 1 頭につき 6,000 円
平成 29 年 4 月～	捕獲報奨金 1 頭につき 12,000 円
平成 29 年 4 月	矢板市鳥獣被害対策実施隊を設置
平成 29 年 7 月	矢板市有害獣侵入防止柵設置事業費補助金交付要綱を整備（市単独事業）上限 50,000 円
平成 30 年 4 月～	有害獣侵入防止柵設置事業費補助金の一部改正 上限 100,000 円
平成 30 年 4 月	矢板市狩猟免許取得補助金 上限 10,000 円 1 人 1 回限り
	矢板市猟友会加入補助金 上限 30,000 円 初回のみ